

宮島包ヶ浦自然公園利活用の検討経過と現在の取り組み状況の報告会

【質問の要旨】

No.	質問内容	回答
1	宮島包ヶ浦自然公園内の戦争遺跡を残してほしいです。	土塁や弾薬庫などの戦争遺産は、きちんと守るように公募の条件として明記します。
2	今後、公募するときには10万円以上の宿泊費を条件に入れるのですか。	公募条件にADR10万円以上を入れるかどうかは決まっていません。宮島の旅館と競合しないのではないかとということで、ADR10万円としていました。
3	観光庁に応募したことを白紙に戻すことはできないのですか。	観光庁に応募したこと自体を白紙に戻すことは出来ませんが、採択されたからといって必ず何かをしないといけないということではありません。
4	もう一度白紙に戻してゆっくり考えてほしいです。	そういった声を受けまして、今後、宮島包ヶ浦自然公園利活用検討会を開催し、包ヶ浦自然公園をどのようにして活用していくかを一緒に考えていきます。
5	反省すべき点があったと言われてますが、どういうところを反省されているのですか。	事業に採択されてから、ここまでのプロセスを報告する会を開くまでに2年も経過していることは大いに反省すべきであり、これまでの進め方にも問題が多少なりともあったと反省しています。
6	公募する際の委員に、宮島地域を代表する方、又は廿日市市民の意見を吸い上げるような工夫はありますか。	まだ案ではありますが、委員の中に宮島地域の方、専門家の方、廿日市市民の方を選任し、幅広い声を聞いていけるように選定する予定です。
7	宮島で商売をされている方と利益のバッティングがあったり、環境に対しての負担があったり、そうした場合の行政の対応はどう考えていますか。	行政の介入の方法というのは事業者が好き勝手されないためにも検討していかなければいけないと認識しており、応募の時はもちろん、出来上がった後も定期的にチェックする体制は整えていきます。また、土地は市のものであり、約束を破れば出て行ってもらうのが絶対条件になります。
8	宮島まちづくり基本構想には、上質な宿泊施設の誘致は一切記載されていませんが、なぜこの基本構想に沿って進めていけないのですか。	宮島まちづくり基本構想の基本方針には沿っている。令和3年度の宮島ルネサンス計画にはそういった内容を書き込んでいます。
9	支援業務を委託していたコンサルから、支払いを断られていて、事故繰り越しという形で予算が令和6年度に繰り越され、その処理について住民から住民監査請求を起	現在、コンサル業者と連絡が取れており、弁護士と相談しながら最終調整を行っている状況です。

	こされるということがあり、それについては棄却をされていますが、まだこの件について処理が終わられてないのではないのでしょうか。	
10	市は今後、事業者が決まって、環境負荷などの問題が生じたときにそれを監督できますか。事業者が逃げたときに対応できるのかという懸念があります。	事業者と契約書を交わす中で、どのような条項を盛り込むのかが1つ大きな論点になります。今言われた懸念事項を払拭するために、こういった条項を盛り込むべきか、環境負荷についても、何をもちって環境負荷となるのか専門家と相談しながら契約書に盛り込んでいきます。
11	宮島の人だけでも7割の人が反対しており、行政は市民とのボタンが掛け違ったまま進めています。終着点は、ホテル誘致ではないといった選択肢もあるのですか。	市が責任を持って最終的に決めるときに、大事なのはそこに至るプロセス、判断材料になります。これから取り組む利活用方針案の協議会においていろいろな意見を吸い上げて、十人十色の意見が出たときに、最後の一つに何を持ってくるのか、それは行政が責任を持って判断します。
12	包ヶ浦栈橋広場をヘリポートの離発着場にする計画がありますが、広場は狭いが離発着できるのですか。	中型のヘリコプターであれば、離発着は可能です。離発着の許可は、航空局と市の許可が必要ですので、離発着に伴う警備員などが必要な場合は、そういった条件を付けての許可となります。
13	今の金額でのADRの設定だと宮島の旅館と競合するのではないですか。	ADRについては、宮島旅館組合としっかり議論を重ねて進めていきます。
14	市長に来ていただいてなんでそこまでしてホテルを建てたいのか、どれだけ私たちの意見を取り入れてもらえるのかちゃんと説明してほしいです。	今回の報告会は、これまでの経過ということで私たちが説明させていただいていますが、市長の説明の場は、適切な時期に必ず設けます。
15	反対署名についてどういう風に重く受けとめているのですか。	反対署名について重く受け止めていることは、議会でも答弁させていただいていますが、我々の思いがしっかり伝わっておらず、情報も出しきれていないという反省もありました。
16	包ヶ浦栈橋管理棟の解体が進んでいますが、栈橋自体は、解体するのですか、或いは別の場所へ移すのですか。また、栈橋の移転等を今後行う可能性があるのであれば、漁業関係者に支障が出ない様な文言を今後作成する資料に付け加えてください。	管理棟は老朽化が進んでいるため解体しており、栈橋は壊しません。 漁業関係者に関わらず、今後状況が変わることがあれば、その都度情報を共有します。

17	<p>当時は1泊100万円の超富裕層向けと報道で拝見しましたが、その1年半後には、1部屋素泊まり10万円と言っておられますが、どういう経緯があったのですか。</p>	<p>1泊100万円ではなく、日本に来てから出るまでに100万円を消費するというのが国が示した高付加価値旅行者の定義であり、そういった方をターゲットとしているのは今でも変わっていません。ただ、そのような表現だとイメージしにくいいため、単価で表すほうがわかりやすいと思い、ADR10万円としております。</p>
18	<p>利活用方針を決めていくにあたって、宿泊施設誘致が前提なのですか。</p>	<p>利活用方針については、市の案ありきではなく、幅広い意見を聞いて作成します。</p>
19	<p>一番大きな赤字の理由は何になるのですか。</p>	<p>全国的にレジャー施設というものが多様化してきている一方で包が浦自然公園は昭和50年代から機能が変わっていないことによってニーズに答えられていないことが赤字の大きな要因ではないかと考えています。</p>
20	<p>報告会を全3回参加している中で、宿舎事業を含むプロポーザルは絶対すると言っていましたが、今回（3回目）の話聞く限り地元の意見をフラットに聞いていきたいという印象も受け、今後、幅広く意見を聞いてもらえるのですか。</p>	<p>市の案ありきではなく、幅広い声を集約しながら今後の方針について検討していきます。</p>
21	<p>プロポーザルを行い、市が求める基準以上の企業がいなかった場合、該当なしという判断を下すこともありうるのですか。</p>	<p>事業者が手を挙げない場合や、基準に満たない可能性ももちろんあります。</p>